



追加型投信／海外／その他資産(バンクローン)

三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型)

〈愛称:スマートスター・プレミアム〉

決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日:2022年7月11日

平素より「三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型)〈愛称:スマートスター・プレミアム〉」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当ファンドは2022年7月11日に決算を迎え、当期の分配金(1万口当たり、税引前)を前期の50円から25円に引き下げましたことをご報告申し上げます。

当ファンドは、米ドル建てのバンクローン(貸付債権)、公社債等への投資に加えて、円に対する米ドルのコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用することにより、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行っております。分配金に関しては、組入バンクローン等の利息収入等に基づき安定分配をめざしています。オプション・プレミアムや組入バンクローンの利子収入等享受したこと等は基準価額にプラスの影響を与えましたが、組入バンクローン価格が下落したことに加え、これまでの分配金のお支払いの影響もあり基準価額は低位にあり、組入バンクローン等の利息収入等の収益の状況から見ると、基準価額に対する分配金の割合が高い状態が続いています。上記の状況等を総合的に勘案し、安定的な分配を継続するために、この度分配金を引き下げることにいたしました。なお、分配金を引き下げるにより分配に充てなかった分は引き続き運用されます。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配金と基準価額(2022年7月11日)

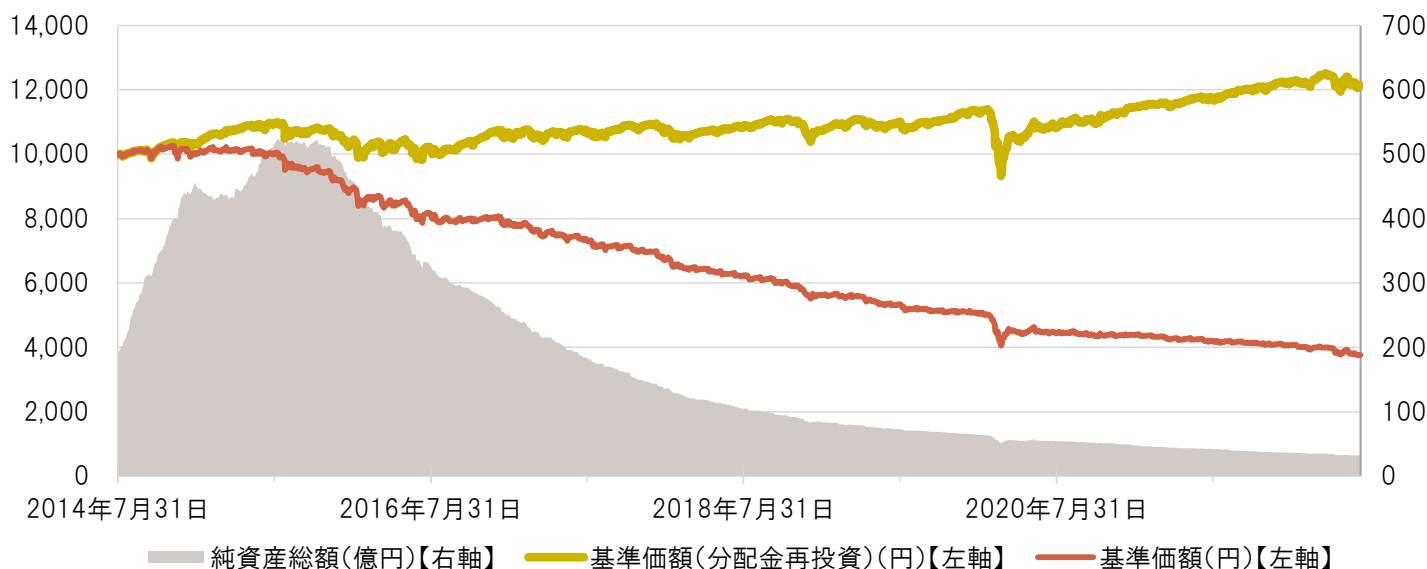
分配金(1万口当たり、税引前)	25円
基準価額(1万口当たり、分配落ち後)	3,760円

【分配金実績(1万口当たり、税引前)】

第91期 (2022年3月)	第92期 (2022年4月)	第93期 (2022年5月)	第94期 (2022年6月)	第95期 (2022年7月)	設定来累計
50円	50円	50円	50円	25円	7,455円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額の推移(期間:2014年7月31日(設定日)～2022年7月11日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型)〈愛称:スマートスター・プレミアム〉

2022年初来の市場環境と当ファンドの運用状況

【市場環境】

＜バンクロン＞

2022年初来の米国バンクロン市況は下落しました。ロシアによるウクライナ侵攻を受けて市場のリスク回避姿勢が強まったことや、FRB(米連邦準備制度理事会)による急速な金融引き締めが景気減速に繋がることの懸念が高まったこと等を背景にスプレッド(国債に対する上乗せ金利)が拡大しました。スプレッドの拡大がマイナス要因となり、米国バンクロン市況は下落しました。

セクター別では、公益、エネルギーなどが相対的に堅調なパフォーマンスとなりました。一方、住宅、放送などが相対的に軟調なパフォーマンスとなりました。

＜為替＞

為替市況は、FRBによる金融引き締めが実施されたなか、日本の金融政策は引き続き緩和的な姿勢が維持され日米金利差が拡大したこと等を背景に、米ドルは対円で上昇しました。

【運用状況】

基準価額(分配金再投資)は下落しました。オプションプレミアムやバンクロンの利子収入を享受したこと、米ドルが対円で上昇したこと等がプラスとなったものの、バンクロンの価格が下落したことや米ドルが対円で上昇した局面でオプションの権利行使に伴う損失が発生したことがマイナスとなり、基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。

(ピムコジャパンリミテッドのコメントを基に
三菱UFJ国際投信作成、
2022年6月30日現在)

米国バンクロン市場の推移

(トータルリターン、米ドルベース)

(期間:2021年12月31日～2022年6月30日)



為替市況(米ドル/円)

(期間:2021年12月31日～2022年6月30日)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型)〈愛称:スマートスター・プレミアム〉

今後の市場見通しおよび運用方針について

【市場見通し】

米国では、財政刺激策の剥落や金融政策の正常化に加え、ウクライナ侵攻による影響から経済成長率は2022年10-12月期には3%を下回る水準にまで低下するとみています。インフレ率については、今年半ば以降は低下すると見込んでいたものの、ウクライナ侵攻を受けたエネルギー価格の上昇や物流の停滞を背景に当初の想定よりもインフレ率の高止まりが継続すると考えています。

このような状況下、金融政策については、今年夏までは0.5%程度の引き上げペースが継続し、その後は利上げペースを緩めるとみていますが、インフレおよび景気動向に応じて利上げペースが大きく変動する点には注意が必要です。バンクローン市場においては、デフォルト率が低位で推移するなどファンダメンタルズ(経済の状況)が改善していることがプラス材料となっています。一方で、ウクライナ情勢を巡る対ロシア制裁などを背景にインフレが一段と上昇していることや、米国の金融政策が金融引き締めに移行していることを受けてリスク性資産の価格変動が大きくなるリスクには注視する必要があると考えています。

【運用方針】

運用においてはリスクの取得には慎重な姿勢を維持しながら、投資妙味が高いセクターや銘柄を厳選して投資を行う方針です。

(ピムコジャパンリミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成、2022年6月30日現在)

・ 市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

【本資料で使用している指数について】

■ バンクローン: クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス

クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックスとは、クレディ・スイス証券が算出する、バンクローンの値動きを表すインデックスです。

三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム 〈愛称:スマートスター・プレミアム〉

追加型投信／海外／その他資産(バンクロン)

追加的記載事項

信託期間の延長および満期償還の予定について

当ファンドは「毎月分配型」と「年2回分配型」で構成される投資信託です。
今般、「年2回分配型」については、信託約款に定めるとおり、2023年10月11日をもって信託期間を満了し、償還する予定です。
一方、「毎月分配型」については、信託期間を2028年10月11日に延長する信託約款の変更を実施し、運用を継続いたします。
これに伴い、下記の点についてご留意いただきますようお願い申し上げます。

ご留意事項

■お申込みについて

「年2回分配型」の購入・換金のお申込みの受付は2023年10月6日までとなります。
「毎月分配型」においては、2023年10月7日以降も購入・換金のお申込みの受付は可能です。

■繰上償還条項について

「年2回分配型」の償還に伴い、2023年10月7日以降は、受益権の総口数の合計に係る条項を削除する予定です。

ファンドの購入に際しては、本記載を十分にご認識の上、お申込み下さいますようお願い申し上げます。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

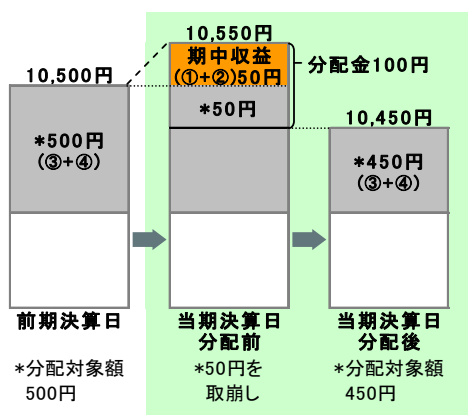


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

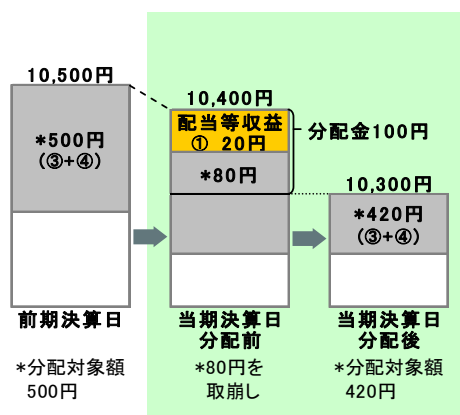
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



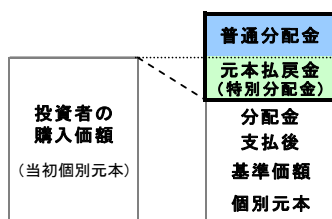
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

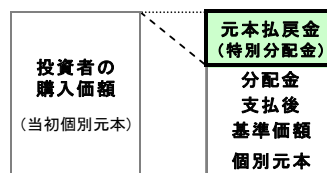
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分には非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定(購入時手数料を含む場合と含まない場合があります)、口数指定のいずれかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】(購入時手数料を含む場合)

例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくことになります。

三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム (愛称:スマートスター・プレミアム)

追加型投信／海外／その他資産(バンクロン)

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

米ドル建てのバンクロン(貸付債権)、公社債等への投資に加えて、円に対する米ドルのコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用することにより、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

投資対象 米ドル建てのバンクロン(貸付債権)(以下、「バンクロン」といいます。)、公社債等への投資に加えて、円に対する米ドルのコール・オプションの売却を実質的に行います。これにより、為替差益を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用します。

- ・主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建てのバンクロン、公社債等を実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。
- ・投資する米ドル建てのバンクロン、公社債等は、原則として取得時においてCCC一格相当以上の格付けを取得しているものに限りします。
- ・コール・オプションの売却に伴い、オプション・プレミアム収入を獲得する一方、権利行使に伴う損失が発生する場合があります。

＜コール・オプションとは＞

コール・オプションとは、株式や通貨などを将来の特定の期日に、合意に基づいて定められた価格(権利行使価格)で買う権利のことです。この権利を売却することで売り手は代金(オプション・プレミアム)を得ますが、同時に満期日において権利行使に応じる義務を負います。当該コール・オプションの満期日において権利の買い手が権利を行使することで、売り手にとって損失が発生する可能性があります。このように、取引における最終的な損益は、オプション・プレミアム収入に、権利行使に伴う損失を加味して考える必要があります。ファンドが売却したコール・オプションは時価で評価され、満期日までの当該時価の変動が基準価額に影響します。そのため、コール・オプションの売却時点で、基準価額がオプション・プレミアム収入相当分上昇するものではありません(なお、コール・オプションの売却は円建ての外国投資信託が行います)。

＜通貨カバード・コール戦略とは＞

ファンドにおける通貨カバード・コール戦略とは、米ドル建てのバンクロン、公社債等への投資に加えて、円に対する米ドルのコール・オプションを売却する戦略です。為替差益を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入の獲得をめざすものです。

ファンドでは、原則として権利行使が満期日のみ可能なオプションを利用します。

ファンドが実際に行うコール・オプションの売却は、市場環境の変化やファンドの設定・解約状況に応じて複数の異なる権利行使価格、満期日で行うことがあります。

ファンドの損益は、通貨カバード・コール戦略による損益に加えて、原資産であるバンクロン等の価格変動や利子収入等の影響を受けます。

運用方法 投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。

運用の委託先 投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。

為替対応方針 原則として、対円での為替ヘッジを行いません。

■ファンドの仕組み

・運用はファンド・オブ・ファンズ方式により行います。

＜投資対象ファンド＞

ピムコ バミューダ バンクロン ファンド C - クラス Y (C-USD)

マネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)

■分配方針

・分配頻度の異なる「三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型)」と「三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム(年2回分配型)」があります。

・「毎月分配型」は毎月の決算時(11日(休業日の場合は翌営業日))に収益分配を行います。「年2回分配型」は年2回の決算時(4・10月の各11日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

「毎月分配型」

・原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。

・分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

「年2回分配型」

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム (愛称:スマートスター・プレミアム)

追加型投信／海外／その他資産(バンクロン)

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、公社債等の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債等の価格の下落は基準価額の下落要因となります。また、円に対する米ドルのコール・オプションの売却を行うため、円安・米ドル高や対円での米ドルの価格変動率が上昇すること等によるコール・オプションの価格の上昇は、基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。 「通貨カバード・コール戦略について」 ファンドは実質的に米ドル建てのバンクロン、公社債等への投資に加えて、権利行使価格が取引時点の為替レートと同水準の円に対する米ドルのコール・オプションの売却を行います。これにより、原則として円安・米ドル高による為替差益を獲得することができません。
信用 リスク	組入有価証券等(バンクロンを含みます。以下同じ。)の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、バンクロンは、公社債と比べ、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。

ファンドは、格付けの低いバンクロンを投資対象としており、格付けの高い公社債等への投資を行う場合に比べ、信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- ・金融危機の発生等により、バンクロン等の市場流動性が極端に低下した際には、委託会社の判断により、購入・換金の申込みを中止することがあります。
- ・オプション取引の満期日をまたいで円に対する米ドルの価格が大きく変動した際には、その後当初の水準程度に戻った場合でも、基準価額は当初の水準を下回る可能性があります。
- ・円に対する米ドルの価格が大きく下落する中でファンドへ大量の資金流入が発生した際には、その後円に対する米ドルの価格が当初の水準程度に戻った場合でも、基準価額は当初の水準を下回る可能性があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム (愛称:スマートスター・プレミアム)

追加型投信／海外／その他資産(バンクロン)

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象証券の購入・換金の制限、流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消することがあります。
信託期間	■三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型) 2028年10月11日まで(2014年7月31日設定) ■三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム(年2回分配型) 2023年10月11日まで(2014年7月31日設定)
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が30億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となる場合があります。 なお、投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	■三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型) 毎月11日(休業日の場合は翌営業日) ■三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム(年2回分配型) 毎年4・10月の11日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	■三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型) 毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 ■三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム(年2回分配型) 年2回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム (愛称:スマートスター・プレミアム)

追加型投信／海外／その他資産(バンクロン)

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.3%(税抜 3%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率1.87%(税抜 年率1.7%)**をかけた額
ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称:三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

・商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。